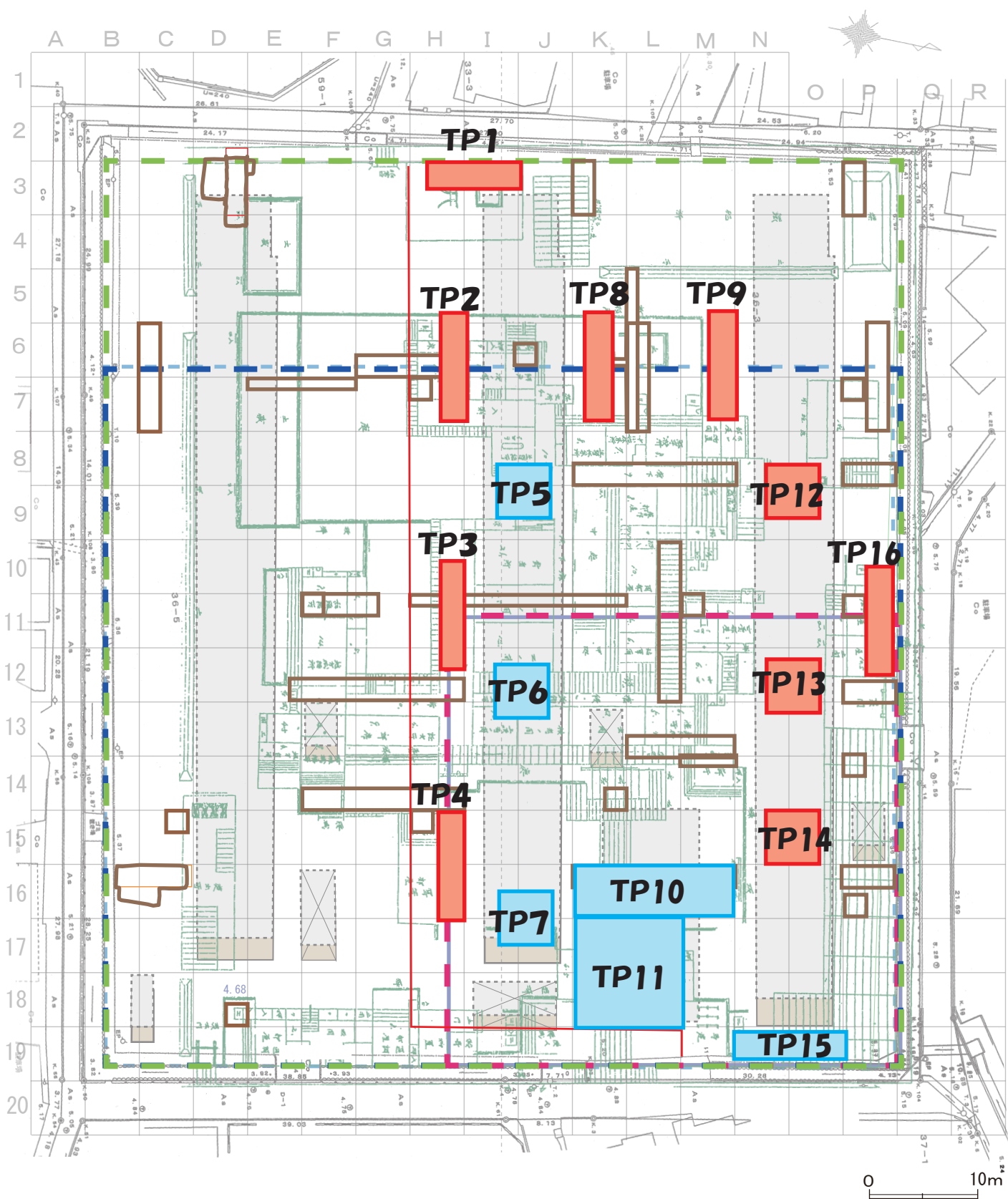




令和 6 年度浦賀奉行所跡発掘調査試掘坑配置図



TP 1 トレンチ全景

トレンチの北側で瓦溜まりとⅢ期地業面を確認。



TP 1 Ⅲ期地業面

TP 1 の北東部では、奉行所Ⅲ期の敷地拡張の西端を確認。



TP 1 瓦溜まり

トレンチ北西側で瓦が出土した。一部の範囲に集中して見られることが特筆される。



TP 2 西側全景

Ⅲ期(上)とⅡ期(下)の重なりが初めて確認出来たほか、Ⅲ期面からは庭と考えられる河原石敷きや柱穴と推測される穴を確認した。



TP 8 生活土坑

江戸時代のごみ穴と推測される、貝をまとめて捨てた穴を確認した。生活残滓を確認したのは初めてである



TP 9 東側全景

トレンチの東側で瓦や陶磁器、貝などを多数確認した。



TP 9 遺物集中箇所

瓦や陶磁器は、トレンチの外側まで広がっていると推測される。



TP14 全景写真

初めて奉行所Ⅰ期の地業面を確認した。Ⅱ・Ⅲ期の石敷きと比較して石の大きさが小さく、細かい特徴を有する。



TP16 間知石

間知石の列を確認した。少なくとも2段存在する。
Ⅰ期の西端である可能性があり、今後の検討が必要。